

株式会社三共造園



【対象類型】 革新的サービス

【事業類型】 小規模型／設備投資

事業
計画名

剪定残材の再資源化による
顧客満足度の向上と新規顧客層への展開

産廃物だった樹木の残材が香り豊かなチップとして再生
人にもペットにも優しい商品を開発中 冬場の雇用対策にも



導入した樹木粉碎機。



現場に運んで粉碎でき、そのまま敷いていける。



粉碎した樹木を敷いた歩道。

事業の背景・目的

当社の造園工事における樹木の剪定後の残材は、これまで産業廃棄物業者に持ち込んでいた。しかしながら、当社の残材に限らず、大量に持ち込まれる産業廃棄物は焼却処理が追いつかない状況にあった。今後、樹木粉碎機の導入によって、リサイクル・リユースして活用することが推進される。

剪定作業で排出される樹木や枝葉の一部は、自社において貯蔵資源化していたが、大半は残材同様、産業廃棄物として処分せざるを得ない状況にあった。

そのため、本事業で樹木粉碎機を導入し、剪定残材を再資源化して活用することで、新規顧客の開拓を図った。

事業内容

剪定枝を粉碎する「樹木粉碎機」を導入した。この粉碎機は、2tトラックの荷台に載せて移動できるため、現場へ持ち込み剪定した木を粉碎し、チップにしてその場に敷くことができる。そのため、剪定枝を運ぶ手間と費用が発生しない。

直径20cmまで粉碎でき、チップの大きさを2mmから15mmまで調整できるため、用途に合わせて大きさを変え再利用することができる。ただ、粉碎する際の音が大きい

ため住宅街では使用できないが、大きな公園等では剪定枝を粉碎してそのまま歩道に敷いたり、老人クラブのパーゴルフコースとして敷くなど、さまざまな場所で活用できる。



チップの大きさは2mmから15mmまで調整可能。

事業の成果

地元上山市の公園で剪定した樹木を、その場で粉碎して敷き詰めた。

上山市が推進しているクアオルト（気功型地形療法）のウォーキングコースには、伐採し処理したものが置いてあるのでチップにしてコースに敷いている。チップがクッション材となり膝への負担が軽減される。また、チップの香りはリラクゼーション効果も見込まれる。現在はコースの一部だけだが、今後は全コースへの拡大が見込まれる。

また、冬場の剪定作業が少ない時期の雇用対策としても期待できる。

今後の展望

羽州街道沿いの伸びて通行に支障をきたす木を剪定して、粉碎機でチップにし羽州街道に敷くという事業が上山市で予算化された。今秋、行政の広報誌で参加ボランティアを募る。

先に記載したクアオルトのウォーキングコースで、粉碎したチップを敷き込む作業を進めている。また、上山市の

通称フルーツラインでかかり枝を処理する方向で進んでいる。行政をはじめ需要が見込まれるところに対し、新規顧客の開拓を図る。

また、チップをそのまま敷くより樹脂で固めることで長く使用できるため、防草シートとして庭に敷いたり、ペット用ドッグランなど、個人向け商品の開発・商品化をめざす。

株式会社三共造園

事業内容

- 造園工事業、土木工事業、砕石、とび・土工工事業、舗装工事業
- 建設業、総合工事業
- 外構／カーポート、住宅のエクステリア、壁、ブロック工事、一般住宅から公共施設まで



代表取締役 井上 睦夫

代表者：井上 睦夫
設立年：平成3年4月
資本金：1,000万円
従業員：6名

住所：山形県上山市仙石字屋敷裏403-1
電話：023-672-0946
FAX：023-672-4090
e-mail：sakura@bb-town.jp